

2011 in USA WC

9月18日（日）

デルタ280便にてアトランタへ向かう、ピーターブルーム氏と1年ぶりの再会

9月19日（月）

米国ハイパーフライト本社に向かい、ディスクオーダー、それから荷物を用意し、テネシー州、チャタヌーガに向かう

9月20日（火曜）

今日から、キャンプジョーダンパークで新競技 WC ラスト・リージナルが始まる。大会は、本年より開始されたエクストリーム・ディスタンス（ロングディスタンス）とディスク・ドギヤソンという大会である。特にディスク・ドギヤソンは、フリースタイル、タイムトライアル、ディスタンス、スポット・ランディング、ブルズアイ、というふうに別れて全ての総合得点で争われる。日本でも行えるものはないかと興味深々であった。非常にクラスが細分化されており、明日の WC ファイナリストがでた。

9月21日（水）

昨日ノミネートされた選手により大会開始。本年全米で18大会開催されたい。とても楽しく選手が競技をしていたのが印象的であった。

9月22日（木）

午前中は、ピーターブルーム氏のレッスンに参加する。約10名ほどであった。午後からケン・マッコート氏（動物行動学者）によるセミナーに参加する。横浜ズーラシア、奈良公園などが登場した。かなりの日本ファンらしい。オペラントコンディショニングの利用方法など、狼の話が主であった。夜は、7時よりマケミアというレスキューでのパーティで日本より参加のチームと合流する。また、すでに渡米していた佐藤、大日向チームとも合流する。柴田・入戸チームは、日本が台風の為、ニューヨーク経由でアトランタ入りのため合流できなかった。

9月23日（金）

今日は2011年最後のリージナルであった。日本より、角田&新井&アイルチーム、佐藤&ポチチームと、大日向&そらまめチームが挑戦した。また、日本人ファイナリストは、明日からの同競技に参加した。結果は、ペアズフリースタイルに2位松田&JCチーム、3位に角田&新井&アイルチームが入賞し、角田&新井&アイルチームにとっては、2011WCファイナリスト入りのアメリカン・ドリームとなった。

明日からいよいよ、2011年ワールドチャンピオンシップが始まる。
アメリカでは各地区より、ヨーロッパからは、イタリア、ドイツ、ベルギー、ハンガリー、スロベニア、そしてカナダ、日本から各予選会を勝ち上がった代表がチャタヌーガで決戦を繰り広げることになる。

9月24日（土曜）

今日は、オープン、ユースの2競技が行われた。2011WCチャンピオンには、昨日のリージナルより勝ち参加の17歳のカービーが優勝、これもまた、アメリカンドリームであった。チーフジャッジマーク氏、ロン・エリス、グレッグ・ペリー、と共に採点した私の感想は、彼女は昨年始めて参加していたが今年はスローイングがとても上手くなり見違えていた。また、サクセスもすごかった。この日登場した、寺西プリンチームは、第1ラウンド、ミス2枚と健闘したが、ディスタンスがくずれてしまった。

9月25日（日） 今日、スポーツに横田チーム、ペアズフリースタイルに松田チーム、角田・新井チームが登場した。

今回のWCは天候にめぐまれて1週間の米国滞在は終了した。総勢10名の遠征で楽しく米国の旅となり、新たにハイパー・フライトジャパンのスタイルができたように思う。また、各選手のリザルトは、米国ハイパー・フライトのHPを見て頂きたい。2011WC参加、応援していただいた皆様に感謝いたします。

9月27日（火曜日） デルタ281便にて全員帰国

2011WC オフィシャル・ジャッジ Hiro Sekiguchi